

## 殺虫剤の土壤灌注処理を中心としたアスパラガスのネギアザミウマ防除

十川和士

香川県農業試験場研究報告 第 63 号 (2013 年 3 月) 15-26

アスパラガス半促成長期どり栽培における春芽どり収穫期と夏秋芽どり収穫期のネギアザミウマ対策として、殺虫剤の土壤灌注処理の防除効果および土壤灌注処理と紫外線除去フィルムの展張を組み合わせた防除体系の効果を検討した。

1. ネギアザミウマに対し殺虫活性の高いベンフラカルブマイクロカプセル剤、メソミル水和剤およびアセフェート粒剤を用い、夏秋芽どり収穫期の土壤灌注処理を検討した結果、メソミル水和剤 1,000 倍希釈液を 3 L/m<sup>2</sup>株元灌注することで高い防除効果が得られた。
2. 春芽どり収穫期におけるメソミル水和剤の土壤灌注処理は、保温直前に 3 L/m<sup>2</sup>株元灌注することでネギアザミウマによる若茎への被害を軽減することができ、アスパラガスの秀品率を向上させることができた。
3. 土壤灌注処理と紫外線除去フィルムを組み合わせた防除体系は、一般 P O フィルムによる慣行防除と比較し、ネギアザミウマを対象とした殺虫剤散布回数を 25% 削減することができた。

キーワード：土壤灌注処理，ネギアザミウマ，アスパラガス，紫外線除去フィルム，防除体系